

やまのうち通信



第 144 号

平成 31 年 4 月 20 日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
TEL・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

生きることは
呼吸することではない
行動することだ
—ルソー—

山内地区戦没者慰霊祭



「194 名の地区出身者のご冥福を祈る」
寒さも和らいだ 4 月 5 日、ご遺族をはじめ地区民 20 数名の参列の中、恒例の護国神社慰霊祭が行われました。明治以来の幾多の戦争により、尊い命を失われました山内地区出身の戦没者の慰霊と併せて、「尊い犠牲の上に築かれた今日の平和と繁栄に感謝」すること、さらには、「不戦の誓いと世界恒久平和」を誓うものです。ある意味、この誓いを、広く全国へ全世界へ発信することでもあるのです。

「山内地区独自の護国神社を建立」

山内地区は、山内西村の時代、村有林の立木を活用し、山王の地に神社を建立したもので、村独自で神社を所有するのは、他地域では余り例がないものです。(山内西村が庄原市に合併した頃と聞いています)

それだけ、戦没者に対する強い哀悼の気持ちと、尊い犠牲を無駄にしないという強い思いの表れだと思えますから、先人の方々の、命の尊さや感謝の念等強い意志を受け継ぎたいものです。

「悲惨な戦争の歴史を風化させない」平成という時代が終わろうとしています、凄惨を極めた戦争の時代は益々遠のき、必死で生き抜いてこられた体験者が少なくなるに従い、記憶のより一層の風化が危惧されます。戦争が如何に悲惨なものであるかを、次世代に継承して行くことも重要な使命だと思えます。

このように意義深い慰霊祭です。より多くの皆様のご参加をお願いします。なお、祭礼には参加しやすい服装で、何方でも、気軽にお出でいたきたいと存じます。

山内地区社会福祉協議会 会長 三橋 豊

放課後子ども教室 「さんだわら作りとひな流しをしました！」



←3月28日(木)に、さんだわら作りを行いました。講師の先生(三上智道さん・実安裕美さん)に教えていただきました。子ども達は「難しいね!!」と言いながらも頑張って作りました。わらで編んださんだわらに、手作りのひな人形をのせて完成しました♪



4月2日(火)午後から国兼川まで散歩も兼ねて、ひな流しへ出かけました。自分で作ったひな人形を流して、身の穢れを水に流すこと(厄払い)ができました!



「金藤理絵さんが庄原市スポーツ大使に！！」



3月30日（土）午前10時から庄原市役所ロビーにおいて、金藤理絵さんのスポーツ大使委嘱式が行われました。

山内自治振興区からも多くの子どもや大人が参加し、約250名の方が市役所ロビーを埋め、金藤さんにエールを送りました。市長から委嘱状が渡された後、庄原市出身のフリーアナウンサー西田篤史さんとのトークショーが行われ、「大使に就任したら庄原市全部の学校を訪問し水泳を教えたい」との抱負も述べられ、庄原市に貢献したい気持ちが強く伝わりました。

振興区としても、金藤さんのさらなる活躍を祈念しております。

福祉知っ得情報

新しい介護の時代 一介護ロボットの体験で感じたこと一

介護分野でロボットの開発が進んでいることをご存知でしょうか。介護を必要とする人の増加や、国が新しい産業として力を入れていることもあり、急速に進化しています。

ロボットといっても、人型の作業ロボットではなく、情報を感知したり、判断をしたり、動作をしたりというロボット機能をもった機器のことを「介護ロボット」と呼んでいます。

電動アシスト（補助）のついた車いすや歩行器、体の変化（熱や脈拍や動き等）を感知するベッド、ポータブルトイレの中の排せつ物を袋詰めして臭気を閉じ込めるものもあります。（右は介護ロボットの例です）

先日、はじめてコミュニケーションのできるロボットを体験しました。ご入居者のみなさんと職員が同じテーブルでロボットを囲み体験利用しました。

まだまだ人との会話レベルとは言えませんが、あいさつや会話への回答もできます。なつかしい唱歌等も身振りをしながら歌うこともできます。最初は、進化した「おもちゃ」として否定的な思いでロボットを見ていましたが、実際にみなさんと体験すると、そのイメージが変わりました。ロボットを囲み、皆で話しかけたり、一緒に歌ったり、体操をしたりと、想像以上に楽しい時間を過ごすことができました。これまで介護分野の機械化というとコンピューターや移動のリフト等、介護職員が業務のために使用する物が主でしたが、これからの介護ロボットは、歩くことや体の動きを助けたり、異常を知らせたりと、ご本人やご家族の



アシストホイール



RT.2



aams.介護



低床3モーターベッド



リトルキーパス



ラップボン



使用を前提に様々な用途で使われるようになるでしょう。

機械に抵抗がある人も多いと思いますが、これらを上手に使うことで「安心や安全」、「快適さ」「楽しさ」を少しくらいは手に入れることもできるかもしれません。ご本人の毎日の暮らしを、やさしく支えるロボットの誕生に期待したいと思います。新しい「令和」の到来とともに、新しい介護の時代も近づいているような気がします。

竹パウダー ニュース News 「ドローン技術の活用セミナーで発表！！」

3月17日にかんぼの郷庄原にて、「庄原市ドローン活用推進セミナー」が開催され、約80名が参加しました。

セミナー内容は、リモートセンシング技術サービスについての講演があり、実際に庄原地域でドローンを活用した事例を7団体が発表しました。

その中で協同組合庄原里山の夢ファームでは昨年取り組んだ「ドローンを活用したブランド米の生育診断」の実証実験の結果を発表しました。他団体の発表に「ドローン技術を学べるスクールや練習場の開設」、「ドローンによる防除農薬や除草剤の散布」、「森林の現場管理への活用」など興味深いものが多くありました。



私たちが取り組む農業分野でも、IT化やスマート農業による機械化が進む中で、ドローンの活用は大いに期待できていると感じています。また、価格面でも産業用の5～10l散布用のドローンが2～3年前には200～300万円していたものが、普及と共に100万円前後になっています。主催者の「庄原グローバル・ドローンイノベーション協議会」が2月20日に設立され、ドローン技術を活用した市内産業の発展と起業につなげる活動を支援していくそうです。

ブランド米「里山の夢」でも品質向上・省力化を目指した実践的な取り組みを今後検討していく必要があると考えています。

地域マネージャー 松田一馬

平成31年度 各自治会関係者名簿(敬称略)

自治会名	自治会長	民生委員	1人暮らし相談員	老人会
本郷	加藤勝利	福田秋美	堀江哲弘	近藤良人
殿垣内	松田一馬			河面昌彦
行里	長泉進	原田瑞子	茶木満里子	谷本佑一
日向	杉山仁			森近正樹
隠地	國近浩二	國近浩二	國利嫩子	白石行人
山王	松村修治			児玉祥功
開拓	百間不二夫	畠田憲一	伊藤安登	不在
木戸	畠田憲一			藤岡辰彦
尾引	尾野義宗	正長みどり	伊藤安登	不在
平田	平世厳貴	原田正幸	藤谷千恵子	榎原忠博
大下	宗近久雄			不在
高茂	末石明	三上智道	三橋寿子	末石明
表水越	三上慎二	水永邦弘	藤川静子	不在
後水越	塚本邦彦		長岡勝巳	不在



おくりもの

◆香典返し 3/16～4/15

山内町 佐藤和美様 (故 河面道男様)
本郷町 建石昌則様 (故 昌志様)

ご芳志ありがとうございます。
ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会



5月の予定

- 14日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会
- 28日 ふれあい給食



男性料理教室 4月4日(木) 参加者7名



- ・鶏のから揚げ
 - ・青菜の和え物
 - ・だし巻き卵
 - ・フルーツ
 - ・炊き込みちらし寿司
- 美味しくできました♪



山内卓球クラブからのお知らせ

4月26日(金) から、
開催時間が
午後1時～3時までに
変わります。



おたがいさまネット



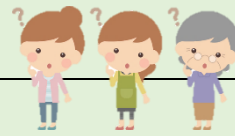
4月1日より試験運行が始まった市民タクシーは、少しずつ利用が進んでいるようです。実際に利用された方に尋ねると「やはり家の門口まで来てもらえるので助かります。」との声でした。今後も利用状況を注視していきたいと思います。尚、利用方法については本誌3月号やこのページの「市民タクシーQ&A」をご覧ください。

さて、平成23年度に取り組みが始まった「おたがいさまネット」は9年目に入っています。この間「一人暮らし高齢者等の見守りと災害時の避難支援」という基本目標を維持しながら、安心・安全に暮らせる地域づくりに取り組んできました。しかし過疎高齢化の中で、取り組むべき地域課題も多く、住民通しの「助け合い・支え合い」で成る「おたがいさまネット」は終わりになき取り組みといえます。

今年度は昨年度に引き続いて、地域内も移動できる山内独自の生活交通を、他地域の事例を参考にしながら検討していきます。また昨年7月の豪雨災害を思い起こすとき、災害への備えは喫緊の課題です。これまでの避難支援体制に加えて、地域の実情に応じたより効果的な避難ができるよう、自治会毎の防災マップ作りを早急に進めていきたいと思っています。

地域マネージャー 三上智道

市民タクシーQ&A



Q 質問	A 回答
1. 利用登録はどうするのですか？	各自治会長を通して、氏名・住所・年齢・電話番号を山内自治振興区に登録してください。
2. 料金はいくらですか？	片道一人700円です。 往復の金額は、700円×2＝1人1,400円です。
3. 利用当日の申し込みはできますか？	出来ません。利用前日の予約となります。
4. 帰りの時間を早くできませんか？	出来ません。他の人との乗り合いタクシーなので、自分だけ早く帰ることはできません。 帰りの時間は午後2:00頃・出発時間は午前9時頃です。
5. 帰りだけの利用はできますか？	できます。前日に帰りのみの予約をしてください。 帰りの時間は午後2:00頃となります。
6. 一般のタクシーとは違うのですか？	違います。市民タクシーは決まった曜日に決まった時間に出発し、決まった時間に帰ります。

「平成30年度山内女性会の総会が開催されました」



3月16日(土)午前9:00から山内自治振興センターで開催されました。

約30名の女性会会員の出席のもと、30年度の事業報告、決算報告31年度の事業計画や予算が審議されました。役員改選も行われ、前回の会長岡崎輝子さんが引き続き会長を務められることとなりました。

総会終了後、庄原市口和町で引きこもり

りや不登校の小中学生を受け入れる、フリースクールを運営している「スイス村」の木原信行さんに講演していただきました。木原さんは元教師で、公教育の限界を感じ、理想の学校を作ろうと口和に移住し自然いっぱいの学校を作られました。口和では牛舎だった建物を借り、改造して学校を作り、農業を営みながら生計を立てる基礎を10年間かけて築きあげ、子どもたちの受け入れを始められました。当初は少年院を出た子どもたちも入ってきましたが、だんだんと引きこもり、発達障害、不登校などの子どもたちも増えはじめました。子どもたちに様々な経験をさせることで、一人の立派な大人として成長をさせておられます。